



①



②



③

①住宅のクロス（壁紙）の実例。
「配色や材質などご希望に合わせて提案します！」
②施工状況を自ら確認する小室さん
③青年部の仲間と共に



ご相談
ください!

Information



株式会社 山口室内装飾店
〒852-8123 長崎市三原1-9-13
☎ 095-847-6015
095-846-6249
営 8:30~17:30
休 日曜・祝日・第2、4土曜

株式会社 山口室内装飾店
こむろ ひさき
専務取締役 小室 久輝 さん



活力ある元気な長崎の未来づくりのお手伝い

今回のがんばってますは、床・内装仕上げ工事やリフォームなど、大型施設から家・マンションまで幅広く手掛ける、株式会社山口室内装飾店の専務取締役・小室久輝さんをご紹介します。

「最近のハウスメーカーの業務においては、衛生面を配慮して、トイレや水回りのリフォーム工事の依頼も増えてきています。時代と共に変化する街や建物、生活様式の一部に携わることができ、完成した時は大きなやりがいを感じます。お客様に喜んでいただいたり、次の仕事に繋がったりすると嬉しいですね」

より一層団結した「青年部」活動

会社役員として活躍する傍ら、作年は、本所青年部の令和2年度(第39代)会長として200人超の会員を束ね、リーダーを務めた小室さん。「YEGFAMILY」さらなる団結力」のスローガンのもと、5月には旅客船「コスタ・アトランチカ」へ向けた稲佐山山頂電波塔ライトアップや、感染症対策を施しながらの厄入りセレモニーや納涼会、OB会との交流事業など、活動を進めてきた。「様々な行事が中止や規模縮小になるな

か、参加したい!」と言ってくれる仲間がいたことが頼もしく、励まされました」と話す。「青年部は経験ある先輩方から若手まで幅広い年齢層・職種の会員が在籍しています。未来の活力ある長崎のために、次世代の地域の担い手として、これまでの歴史や知識を生かし、また新しい発想を取り入れながら、地域経済の発展に貢献していきたいです!」

長

崎の街づくりのお手伝いをしたい。これから長崎は、新幹線やMICE、幸町のスタジアムシティの建設など、「100年に一度の変革期」を迎える。「建物が増えることで人が来て、街も明るくなる。引き継ぎ、将来に向けた街づくりに内装仕上げ業者として携わっていききたい」と意気込む小室さん。また、一経済人としても、昨年10月に発足された「新幹線暫定開業効果最大化実行委員会」に委員として参画したり、さらに

建設業界への一歩に父の背中あり。昭和35年に創業し、平成11年に山口前社長から現社長である父・久人さんへバトンが渡り、昨年創業60周年を迎えた同社。「幼い頃から弊社で働く父の姿を見ており、また自宅が会社の近くだったので身近な存在に感じていました」と小室さん。高校卒業後は、県内のハウスメーカーに就職。大工や現場監督など、建設業に10年間従事し、同社へ入社した。「前職での経験は建設業に関わる上で、とても勉強になりました」と当時を振り返る。現在は、市内を中心に九州・県内各地で、打ち合わせから現場管理まで行なう一方、次期後継者として会社のマネジメントや現場監督を担っている。

内

装一本に注力し、数多くの現場へ床やカーペット、カーテンの取り付け、クロス(壁紙)貼り、リフォームなどをメインに、ハウスメーカーや地場ゼネコンの建設工事の内装仕上げを行なっている同社。過去には、市の文化施設や病院、ホテルやゴルフ場、マンション、美容室など、多くの現場の内装を手掛けてきた。

今年度は、青年部の県連合会の会長に就任し、県下の商工会議所青年部を引っ張っていく使命がある。「県内全体が元気になるような活動を積極的に進めていきたいです。そして、一日も早く元の日常に戻って、長崎の未来へ繋いでいけたらいいですね」と抱負を語ってくれた。

仕事や地域事業のほか、健康維持のためのランニングなど運動もしっかり頑張っているという小室さん。床・内装仕上げ、水回りなどのリフォームのご相談は、ぜひ「山口室内装飾店」までお尋ねください!